

令和4年度地方創生推進交付金事業
(広域連携事業)

効果検証結果報告書

湯前町

地方創生推進交付金

令和4年度（2022年度）交付対象事業経費

56,802 千円（ソフト事業） + 1,200 千円（ハード事業） = 58,002 千円

【うち湯前町負担分 2,388 千円】

・ 事業の概要

事業目的

- 地域連携DMOである人吉球磨観光地域づくり協議会が実施主体となり、10市町村や県、観光協会、民間事業者や地元住民等、多様な関係者の合意のもと、人吉球磨地域自体をブランド化し、交流人口と観光消費額を拡大させ、地域経済の活性化を図る。
- 人吉球磨地域の認知度を高め、地域自体をブランド化して競争力のある観光地域づくりを進め、交流人口と観光消費額の拡大による地域経済の活性化を図り、雇用の創出や所得の向上を促進する。また、移住定住支援施策と少子化対策施策を併せて行うことで、若者の地域外への流出を抑制するとともに移住を促進し、社会減や少子化による人口減少に歯止めをかけることを目指す。

対象事業

1 地域の稼ぐ力強化事業

	交付対象事業におけるソフト事業経費内訳	実績額 (千円)
○魅力ある商品の開発	(1)PR写真撮影業務委託費、総合PR業務委託費	15,035
	(2)ブランド商品開発支援業務委託費	7,495
	(3)ツーリズム事業会場設営・企画運営委託費	2,602
	(4)商品化・パッケージ化事業業務委託費	4,680
	(5)アニメツーリズム事業業務委託費	200
○国内誘客の促進	(6)パンフレット製作業務委託費	959
○国外誘客の促進	(7)インバウンド市場ツール及び環境整備事業業務委託費	4,776
○市町村の枠を超えたデジタルプロモーション	(8)「人吉・球磨 風水・祈りの浄化町」ポータルサイト改修業務委託費	1,872
計		37,619

2 地域の推進体制確立事業

	交付対象事業におけるソフト事業経費内訳	実績額 (千円)
○継続的なデータ整備と 受入体制づくり	(1)宿泊物販施設旅行者・拠点観光施設利用者実態調査 業務委託費・人吉球磨地域デジタル観光マーケティング 調査分析業務委託費	3,653
	(2)2次交通アクセスマップ制作費	300
	(3)専門人材の雇用経費	6,948
	(4)事務所賃借料	427
	交付対象事業におけるハード事業経費内訳	実績額 (千円)
	(5)レンタサイクル購入費	1,200
計		12,528

1+2 合計	実績額	50,147
--------	-----	--------

人吉球磨観光地域づくり協議会からの報告

KPI① 宿泊者一人当たりの観光消費額

事業開始前	2022 年度目標	2022 年度実績	2023 年度目標
数値	数値	数値	数値
15,554 円	17,751 円	44,765 円	18,593 円
結果	達成		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年に比し、項目別として「宿泊額」の上昇の一方で、「体験」や「食事」の項目でやや減少 ・豪雨災害により被災した宿泊施設の再建・再開を機に宿泊単価の上昇がみられ、それに呼応した集客とともに滞在中の消費拡大策が課題 		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力あるコンテンツの商品化と適正な価格設定の実現を目指す。 ・地域の自然、歴史、食など各観光素材の商品化とともに観光情報発信・プロモーションを強化し、滞在型観光地の実現を図る。 		

KPI② 延べ宿泊者数

事業開始前	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
数値	数値	数値	数値
230千人	248千人	128.3千人	256千人
結果	未達成		
課題	・コロナ禍及び令和2年7月豪雨の影響による観光客減少からの回復		
今後の方針	・当地域の最大の資源である歴史・文化や独自の地域産業を観光資源として、近年の旅行者が求める体験商品化を図ることによって販売チャネルの拡大を図り、滞在型の集客に取り組んでいく。		

・ KPI③ 外国人延べ宿泊者数

事業開始前	2022年度目標	2022年度実績	2023年度目標
数値	数値	数値	数値
13千人	14.2千人	0.4千人	14.8千人
結果	未達成		
課題	・新型コロナウイルス感染症の影響による外国人観光客減少からの回復		
今後の方針	・外国人観光客受け入れの本格化に伴い、世界のトレンドとなっているサステイナブルツーリズムをテーマに、歴史・文化資源やお茶を始めとした地域産業の体験商品化、また自然を活用したアクティビティなどを組み合わせたサイクリングルートの商品化などに取り組み、広域的な周遊・滞在型の受入整備を図る。		

【評価委員会（人吉球磨観光推進協議会）意見】

- 宿泊者一人当たりの観光消費額については、調査期間を拡大し多数の観光客のデータを収集して、よりデータの精度を上げるとともに、調査結果をしっかりと分析し、魅力あるコンテンツの商品開発に取り組んでいただきたい。
- 延べ宿泊者数については、回答宿泊施設数の拡大を図るとともに、回答施設の継続的なデータ収集・分析に努め、復旧・復興の状況を踏まえながら、より効果的な観光振興事業を実施していただきたい。
- 外国人延べ宿泊者数については、これまで取り組まれてきたインバウンドの受入態勢づくりの取組の成果を十分に発揮し、また、TSMCの熊本進出等も踏まえてターゲットを設定し、より効果的な事業を実施していただきたい。

湯前町人口ビジョン・総合戦略策定委員会意見

- かなりの額を使って事業を進めていかれているが、あまり効果が出ていないように思える。商品の開発など実績として上がってきているが、情報発信が出来ていないのではないだろうか。
- 観光消費額や宿泊者数を指標として上げられているが、人吉球磨管外からこういった交通手段で来られたのか、また来られた際にどの施設、どの観光地に行かれているのかといったデータがあると検証が更に深まると考える。
- KPI②と③について、課題に【コロナ禍及び令和2年7月豪雨の影響による観光客減少からの回復】と記載があるが、今後の方針には課題に記載のあるコロナや令和2年7月豪雨の点について触れられていない。課題を受けての今後の方針が必要に思える。
- 人吉球磨観光推進協議会からも似た意見が出ているが、外国人と一括りにするのではなく、どの国の人に来てほしいのかというターゲット設定が重要であると考えます。